

4 アマガイ

(アマオブネ科)

兵庫県ランク:B

Nerita japonica

環境省ランク:指定なし

種の概要

房総半島以南に分布し、やや内湾的な岩礁の潮間帯上部にある岩の割れ目などに生息する。殻長、殻幅とも10~20mmほどになり、殻は半球形で、螺塔はわずかに突出する。殻表は光沢がなく、弱い螺肋や成長線があるものからほとんど平滑なものまで変異がある。地色は黒色で、黄白色から褐色の三角斑や稲妻状などの模様を巡らし、個体変異に富む。殻口は明るい黄白色で、軸唇に弱い歯がある。蓋は石灰質で顆粒があり半月型。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
○	○		○	○			○

県内分布

たつの市、赤穂市、洲本市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。播磨西部と淡路島の一部の前浜干潟周辺や波当たりの弱い海岸の潮間帯や河口端において、砂利混じりの岩礫場に生息する。いずれの生息地も範囲が狭く、個体群は弱小である。

保護上の留意点

比較的潮通しのよい内湾環境下の砂利混じりの礫浜の保全。



【執筆者】 川渕千尋